

膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者 悉皆登録研究

お薬による治療の選択肢が広がったことから、神経内分泌腫瘍の診療は近年大きく変化しています。今後の治療指針を作るためには、膵臓、消化管、肺、気管支、胸腺などの各分野で、日本における NET の患者さんがどれぐらいいるのか、重症な方の割合はどれだけかについてさらに十分な情報を集めて、研究を進めていくことが必要です。より良い治療指針を作ることで患者さんの症状を和らげ、生活の質を高めていくことができれば、将来あなたと同じ病気の方の治療に大きく役に立つことになると考えています。

この研究では、2012 年 1 月 1 日以降に神経内分泌腫瘍の診断を受けて、各施設の倫理審査委員会承認日以降も診察を継続している患者さんのうち、原発部位が膵臓・消化管、または肺・気管支・胸腺のいずれかである患者さんに参加していただき、神経内分泌腫瘍の患者さんがどれぐらいいるのか、重症な方の割合はどれだけかの最新の実態を調査します。

本研究は、国が定めた「臨床研究に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床研究倫理委員会（臨床研究の実施または継続について、倫理的観点及び科学的観点から調査及び審議する委員会）においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。